

がんの相談支援・情報提供 に関する基礎資料

(個別目標)がん医療に関する相談支援及び情報提供

【個別目標】

- ・原則として全国すべての2次医療圏に、相談支援センターを概ね1か所程度整備（3年以内）
- ・相談支援センターに、がん対策情報センターによる研修を修了した相談員を配置（5年以内）
- ・がんに関する情報を掲載したパンフレットの種類を増加させるとともに、当該パンフレットを配布する医療機関等の数を増加させるとともに、すべてのがん患者及びその家族が入手できるようにすること
- ・拠点病院における診療実績、専門的にがん診療を行う医師及び臨床試験の実施状況に関する情報等を更に充実させる

| ベースライン | 進捗状況 |
|--|-------------------------------------|
| 2次医療圏に対する相談支援センターの整備率(H19.3末) 78.5% (281病院/358医療機関) | 同左 (H22.4) 108.8% (377病院/349医療圏) |
| 研修を修了した相談員を設置しているセンター数 (H19.4現在) 0% (39/286施設) | 同左 (H21.9現在) 100% (377/377施設) |
| がん情報センターのパンフレットの種類 (H19.4) 4種類 | 同左 (H22.3) 46種類 |
| 公開している拠点病院の診療実績等の項目数 (H19.4) 44項目 | 同左 (H20.4) 130項目 |

【協議会からの意見】（平成22年6月がん対策推進基本計画中間報告）

- ・今後、相談支援機能の質の向上が必要
- ・地域のがん患者等と共同で、患者及びその家族を対象とするピアサポートの実施
- ・今後は、患者が必要とするがん情報や提供方法を定期的にモニタリングし、提供方法等を見直すことが重要
- ・拠点病院の施設別の機能や診療アウトカム情報について、より分かりやすく検索・比較可能な情報の提供方法を検討すべき

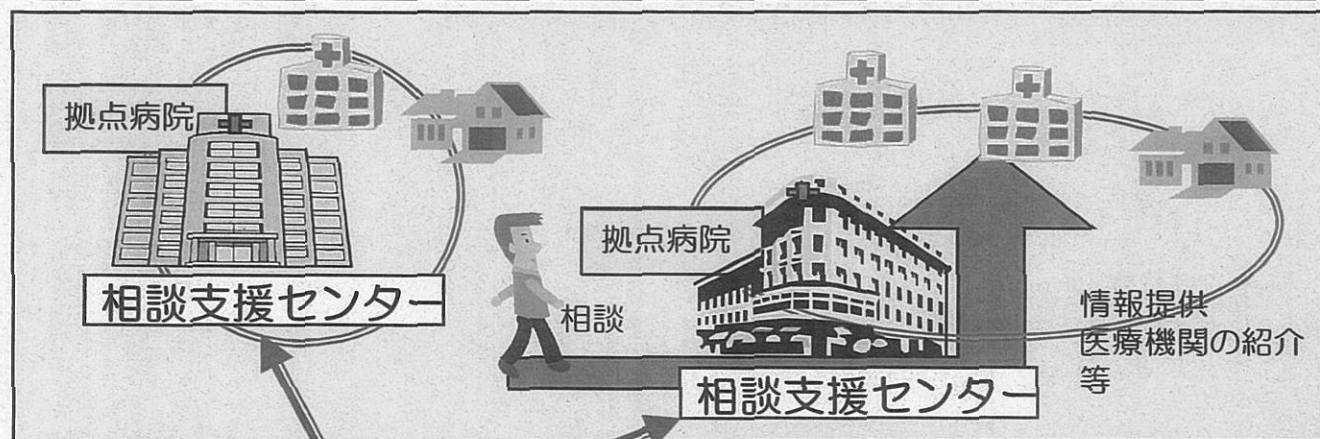
がん相談支援センター

各がん診療連携拠点病院に設置

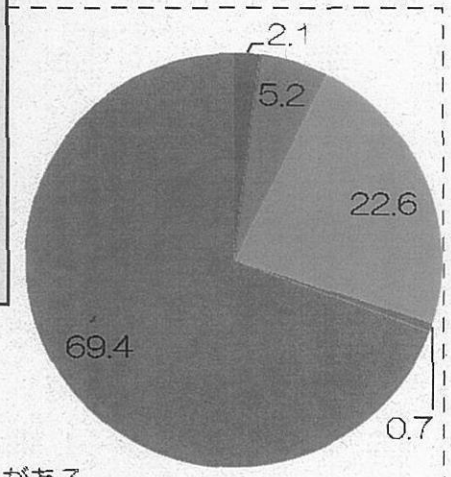
(がん拠点病院数：377施設)

【相談支援センターの主な業務】

- 各がんの病態、標準的治療方法等の情報提供
- 地域の医療機関、医療従事者の紹介
- セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介
- 地域における医療機関の連携事例の紹介

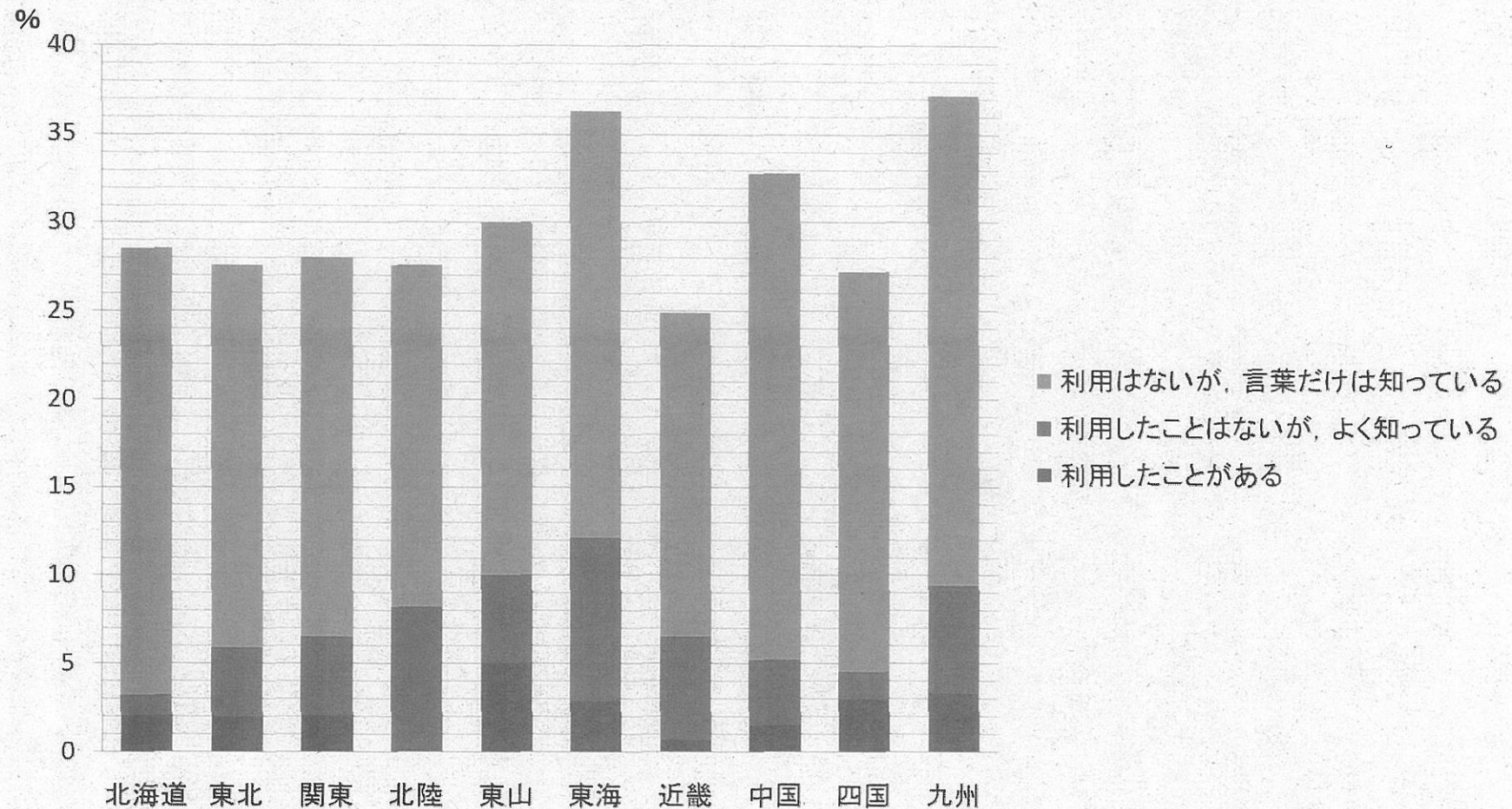


相談支援センターの
認知度・利用度



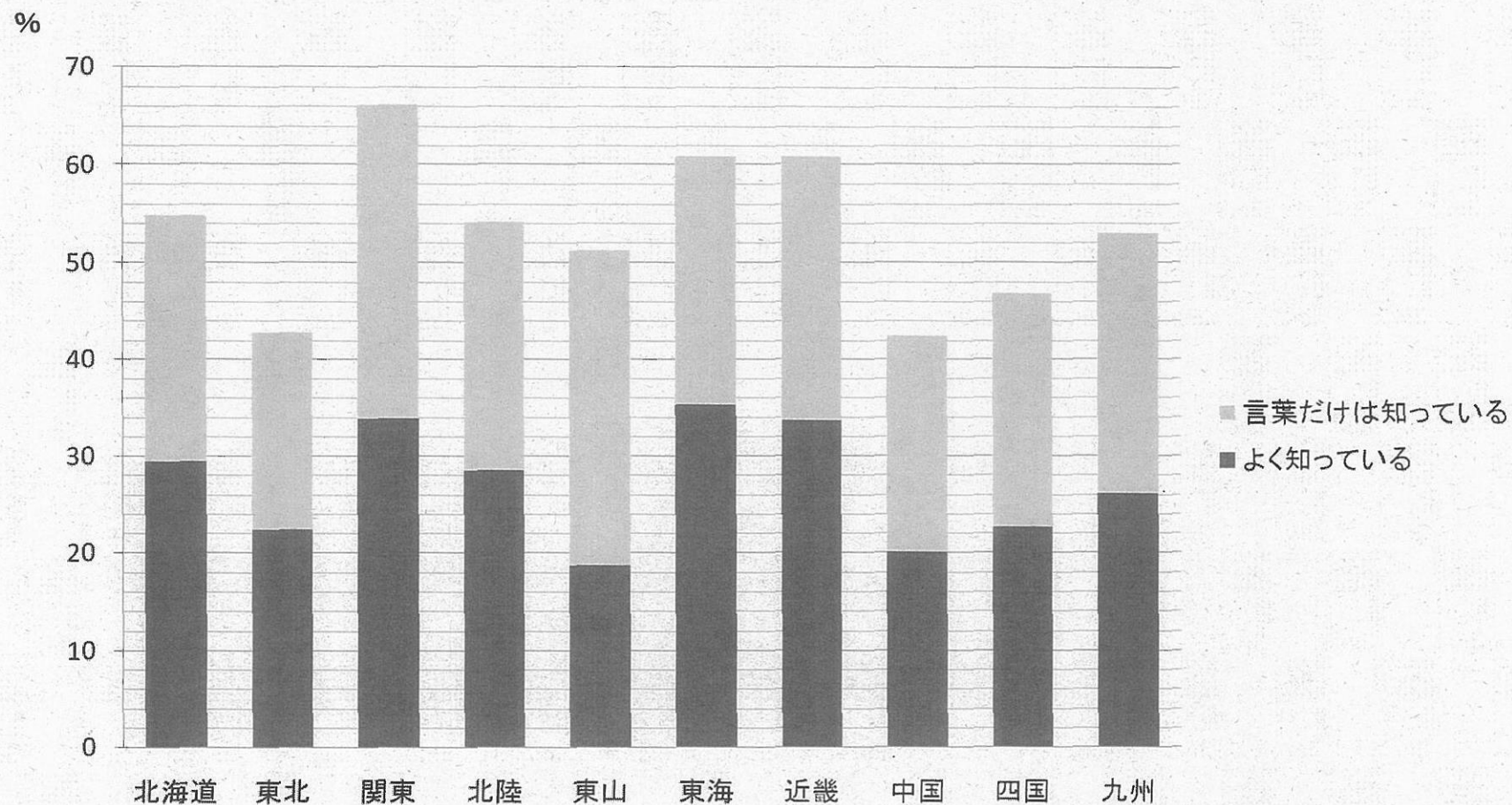
- 利用したことがある
 - 利用したことはないが知っている
 - 利用したことはないが、言葉だけは知っている
 - 分からない
 - 知らない
- 平成21年度世論調査より

相談支援センターの認知・利用度 (平成21年度内閣府世論調査)



※ 東山:山梨県, 長野県, 岐阜県

(参考)セカンド・オピニオンの認知度 (平成21年度内閣府世論調査)



※ 東山:山梨県, 長野県, 岐阜県

都道府県がん対策推進事業の拡充(がん総合相談事業)

